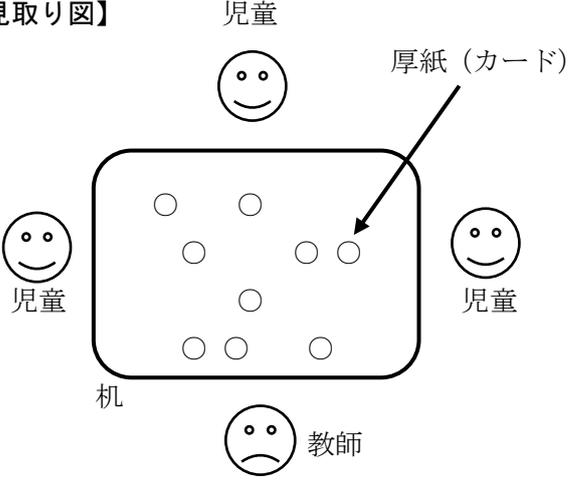
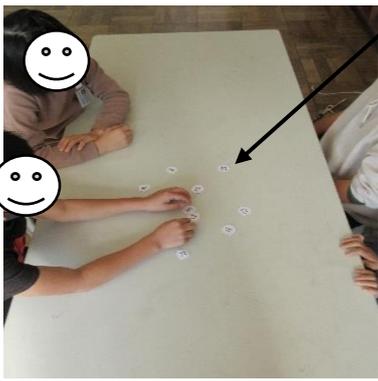


自作教具の活用事例

<p>【作品名】 楽しく九九を覚えよう</p>	<p>【学校名】 日立市立塙山小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】 算数 生活単元</p>	<p>【制作者名】 廣谷 保人</p>
<p>【制作の意図】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある厚紙や牛乳パックなどを活用して、かけ算九九を唱えたり、覚えたりする教材として制作した。同じ答えの九九を探したり、ゲームにも使ったりすることができるので、集中して楽しく協力し合いながら九九を覚えていくことができる。 	<p>【使用方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数人で実践できるようにした。交代で九九を唱えたり、続けて唱えて答えが合っているかを確かめたりと、机を囲みながら、楽しく手で操作しながら活動ができるように工夫した。 九九ビンゴゲームでは、ボックスの中にキャップを入れて、交代で1つずつ取り出し、出てきた答えがビンゴカードのマス目に書いた数字と合っていれば○をつけていく。一列揃ったら、ビンゴとなる。
<p>【制作上の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚紙を小さな円型に切ると軽いので、複数あっても移動が便利であることに加え、様々な場所で学習できるように工夫した。厚紙（カード）の表に式、裏に答えを書き、児童が裏面にひっくり返すことで、すぐに九九の式と答えを確かめることができる。 	<p>【見取り図】</p> 
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在籍している児童が九九を十分に理解しているとは言えないため、一緒に楽しみながら覚えることが大切であると考え、「九九当て」や「かるたゲーム」、「ビンゴゲーム」などの活動形式の学習を実践した。児童は、実際の活動を通して九九に対しての苦手意識が減少したように感じた。また、今後はさらなる九九の定着につなげていけるように、プリントと併用して活用していくことが、大切であると感じた。
<p>【材料・材質・部品等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 円型に切り取った厚紙（81枚） 牛乳パック（9こ） 空き箱（1こ） ビンゴカード 	